

仕様・アフターサービス・保証書

■ ブライトアップ・クロック II の仕様

電源 / 消費電力 : AC100V 50/60Hz. 37/38 W	ランプ演色性 : 平均演色評価数 Ra 値 93
サイズ / 重量 : H535 x W110 x D135 mm / 1.52 kg.	ランプ色温度 : 7,500 K
照度 / 距離 : > 11,500 lx / 10 cm > 6,000 lx / 20 cm > 3,000 lx / 30 cm <small>※新しいランプでの測定による概算データです。</small>	使用ランプ : 専用 15W ランプ × 2 本
	ランプ寿命 : 約 1,000 時間
	原産国 : 中国 (ソーラートーン・デザイン)

■ アフターサービス

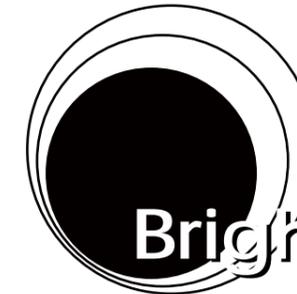
- 修理をご依頼される場合はお手数ですが先に弊社までご連絡ください。
- ご連絡後に、下記の欄にできる限り詳しく症状等を明記し、保証書、修理品と一緒に同封してください。

修理依頼書	症状他	弊社使用欄
修理ご依頼日 年 月 日		

- 当社はこの照明器具の補修性能部品 (電気部品) を製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
(補修性能部品には、同等機能を有する代替部品を含みます。)

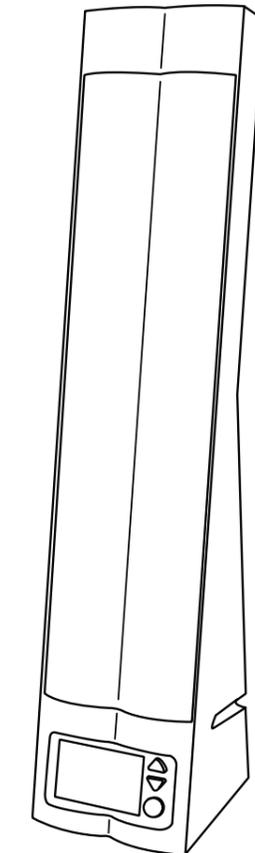
■ 保証書

保証書	
<p>[保証規定]</p> <p>1 保証期間内に正常な状態で使用していて故障した場合には、本保証書記載内容に基づき無料修理致します。但し、消耗品及び付属品は除きます。</p> <p>2 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本保証書をご提示されない場合 ② 本保証書の所定事項の未記入、文字を書き換えられたもの、販売店の表示/印がない場合 ③ 本保証書と製品貼付ラベルの内容が一致しない場合 ④ お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び破損 ⑤ 火災、地震、水害、公害、指定以外の仕様電源、その他の天変地異による故障及び損傷 ⑥ 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 ⑦ 一般家庭用以外 (例えば業務用など) にご使用の場合の故障及び損傷 <p>3 修理はお買い上げの販売店、取扱店へ保証書をご提示のうえ依頼ください。</p> <p>4 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。 本証明書は無効です。</p> <p>5 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 ※通信販売等でご購入の場合など、販売店印のない場合は、お買い上げ票などのご購入日が明確なものと一緒に保管しておき、修理のご依頼の際には保証書に添付してください。</p>	
氏名 : _____ 住所 : 〒 _____ 電話 : _____ ご購入日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日 商品名 : ブライトアップ・クロック II 保証期間 : ご購入日から1年間	販売店名及び取り扱い店名/印 _____ _____ _____
Solartone ソーラートーン株式会社 bright-up.com 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-16-6 Tel:03-6809-0310 Fax:03-5728-3044 info@solartone.com	



Solartone
BrightUp Clock II
 BrightLight Wake-Up System
 ブライトアップ・クロック II

Operating Manual
 取扱説明書



目次

● 安全上のご注意	1
● ブライトアップ・コンセプト	2
● 本体各部名称・機能	3
● 操作パネル 名称・機能	4
● 現在時刻・目覚し時刻の設定	5
● 自動消灯・アラーム音設定	6
● 手動点灯・スリープタイマー	7
● モード設定	8
● ランプ交換時期・交換方法	9
● メンテナンス	10
● 仕様・アフターサービス・保証書	11

この説明書をよく読んでからご使用ください。

安全上のご注意

当製品を末長く安全にご使用頂くため、ご使用前に必ずこの使用説明書をよくお読みください。また、お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

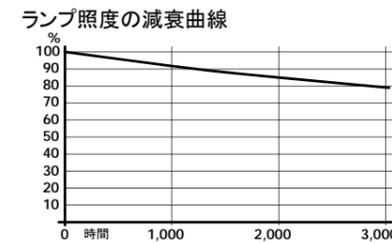
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使い頂き、あなた自身や他の人々への危害や財産等への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお読みになり良く理解し、指示に従って下さい。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

- 警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** 人が傷害を負う可能性や、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- ⊘は、禁止事項、❗は、必ず行う事を表わしています。

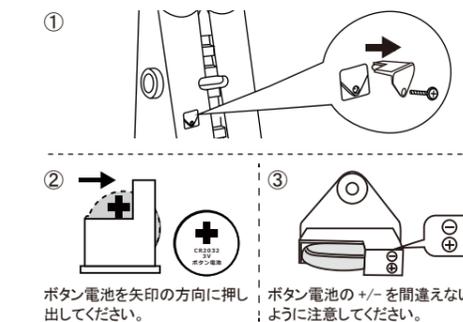
警告 感電注意 本体に破損がある場合、また、損傷のある電源プラグ・コード使わないでください。感電・ショート恐れあり、大変危険です。	注意 ペースメーカー等の電磁障害の影響を受けやすい体内埋込み型医用電気機器を使用している人また、医療機関で治療中の人は使用前に医師と相談してください。
注意 濡れた手で電源プラグに触れないでください。また、使用中雷が鳴り出したらただちに使用をやめてください。感電・ショート恐れあり、大変危険です。	注意 特別な投薬（抗鬱薬、向精神薬など）を受けている方、血圧が高い方、うつ病の方、また過度の疲労、苦痛、不安、不眠がある方は使用前に医師と相談してください。
禁止 本器を水や他の液体で濡らしたり、浸したりしないでください。また、浴室などの湿度の高い場所で使用しないでください。感電・ショート恐れあり、大変危険です。	禁止 日本国内の家庭用電源（AC100V 50/60Hz）以外では使用しないでください。また、屋外で使用しないでください。
火災注意 本体の背面の空調口をふさいだり、タオル・毛布を掛けしないでください。また、本器内に異物を入れたりしないでください。オーバーヒート、故障、火災の原因となります。	禁止 不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。

注意 分解禁止 修理技術者以外の方は絶対に分解・修理しないでください。また、専用蛍光管以外使用しないでください。発火・異常動作・事故の原因となります。	注意 子供、他の人が居る場所で使用する場合はよく管理してください。事故やトラブルの原因となる恐れがあります。
禁止 蛍光管が破損した場合や、タイマーが故障した場合は使用しないでください。ケガの原因となります。	注意 光を長時間見つめ続けしないでください。
禁止 掃除をする際は研磨剤・薬品・アルコール等は使用しないでください。また本器に液体等が浸透しないようにしてください。本体変色・変形・故障の原因となります。	禁止 高温の場所、直射日光、熱器具の側での使用、設置、保管を避けてください。また、ラジオ・テレビの近くでの使用は雑音等の影響が出る可能性があります。

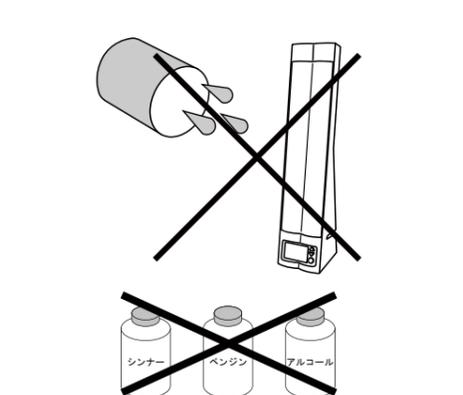
メンテナンス



■ ランプの使用時間と照度について
ランプ（蛍光灯）は使用時間が経つにつれて、その出力が低下していきます。また、使用時間に関係なく点灯・点滅の回数や環境によっても照度が落ちてきます。左の図の様に一般的には3,000時間の使用で約20%の照度低下がみられます。ブライトアップ・クロックIIの使用においては、照度は重要な要素ですので、使用時間が1,000時間を越えた時点（約10%低下）での蛍光管交換をお勧めしています。また、1,000時間を経過しなくてもランプが暗くなったと感じたら交換をお勧めします。



■ バックアップ用電池の交換方法
必ず AC プラグをコンセントから抜いて交換作業を行ってください。
① 本体背面のネジを外し、電池ホルダーを引き出します。
② ボタン電池（CR2032）を取り出します。
③ 新しい電池の +/- を間違えないよう、正しくセットしてください。
[注意]
電池を交換した後は、時計機能がリセットされます。再度時刻設定を行ってください。（P5 モードの設定参照）バックアップ用電池が消耗し切れてしまうと、コンセントに繋いでいない間、時計の機能が保持されません。
※長期保管をする場合は、電池を取り出して保管してください。



■ ブライトアップ・クロックのお手入れのしかた
● 蛍光灯は放電灯ですので、静電気により周囲のホコリを吸着してしまいます。使用前には、ディフューザーを拭いて、ホコリを取ってください。ディフューザーの汚れはブライトアップ・クロックIIの照度を極端に下げることがあります。
● 静電気によるホコリや汚れの吸着は、表側だけではなく、月に一度はディフューザーを外して、ディフューザー内側や中の蛍光管表面の掃除を行ってください。
● お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
● 器具の汚れは、水または中性洗剤の溶液に浸した布を、固くしぼって拭き、次に乾いた布で乾拭きして、水分や洗剤が残らないようにしてください。
● お手入れにはアルコール、アルコール含有のもの、シンナー、ベンジン、ベンゾールなどの薬剤やミガキ粉、たわし等は、使用しないでください。変色、変質、傷の原因となります。

■ 故障かな？ と思う前に
★ランプが点灯しない ★蛍光管がチラつく
「故障かな？」と思う前に、まずこの項目でチェックしてください。

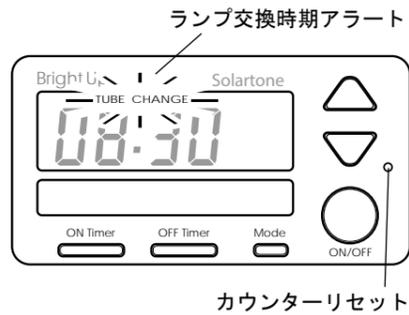
- [チェック項目]
- 電源プラグとコンセント。
 - 本体のモジュラープラグ。
 - サブディスプレイ表示、点灯マーク確認。
 - 蛍光管のゆるみ・はずれ。（配達直後に点灯しない場合など）
 - 蛍光管の寿命。

- [処置]
- 電源プラグをコンセントにしっかりと差込む。
 - モジュラープラグをソケットにしっかりと差込む。
 - 手動点灯、あるいはタイマーが入っていない。
 - 蛍光管をソケットはめて、ピンが接触するように回転させる。「ランプ交換時期・交換方法」を参照。
 - 点灯している蛍光管と交換して、点灯を確認する。
- 交換した蛍光管が点灯する場合は、蛍光管の交換を。
- 交換した蛍光管が点灯しない場合は、本体修理依頼を。

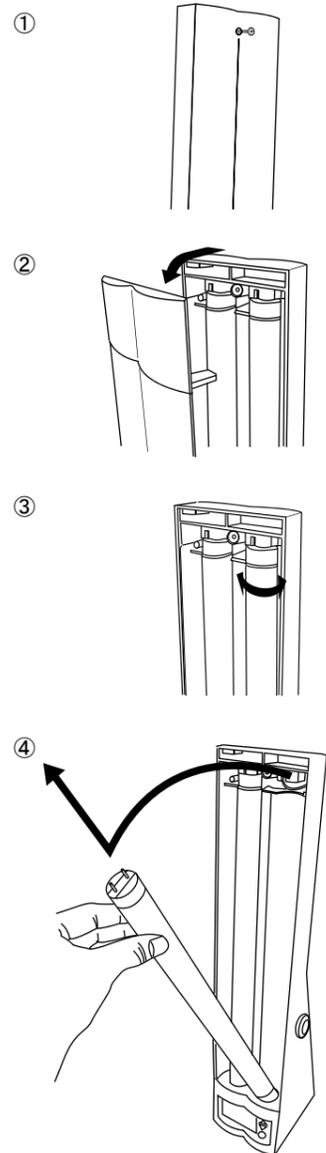
※ 上記のチェックで改善しなければ修理依頼を。

※ 修理依頼は、お買い上げの販売店、またはソーラートーンまで。

ランプ交換時期・交換方法



カウンターリセット



■ ランプ(蛍光管)の交換時期

ブライトアップ・クロックIIのランプは専用の蛍光管を使用していますが、蛍光管は使用した時間と共にその照度が下がっていきます。蛍光管の交換時期の目安として、ブライトアップ・クロックIIにはランプの使用時間を積算するカウンターが装備されており、1,000時間を越えるとランプ交換アラート「TUBE CHANGE」がメインディスプレイに表示されます。交換マークが表示されたら蛍光管を交換してください。蛍光管の照度は、使用時間だけでなく、使用頻度と使用状況等にも影響されますので、1,000時間以前に照度が下がる可能性もあります。照度が落ちてきましたら、カウンターの表示に関係なく交換する様にしてください。

注意: 「TUBE CHANGE」が表示されていても、通常通り使用できますが、表示はカウンターをリセットしない限り消えません。

■ ランプ(蛍光管)の交換方法

作業の前にブライトアップのACプラグをコンセントから外します。使用直後は蛍光管が過熱していますので、注意してください。

- ① 本体裏側のディフューザー・ネジをプラスドライバーで緩めます。(ネジは紛失防止ストッパー付ですので、外れません。)
- ② ディフューザーの上部を手前に引くように開きながら外します。
- ③ 蛍光管を左右どちらかの方向に4分の1回転させます。
- ④ 蛍光管上部を持ちソケットから手前に引き抜き、そのまま上に上げる様にして下側のソケットから蛍光管を上へ引き抜きます。
- ⑤ 新しい蛍光管をセットする場合は、蛍光管の先端のピンが前後に並ぶように持ち、先に下側のソケットにピンを差込み、その後上部のソケットにピンを差し込みます。
- ⑥ 上下ともしっかり差込みましたら、蛍光管を左右どちらかの方向にクリック音がするまで回します。(4分の1回転:90度です。)
- ⑦ 2本の蛍光管を交換したら、ディフューザーを取り付ける前に、点灯試験をします。点灯しない場合は、蛍光管が正確にセットされていない可能性があります、もう一度回してみてください。
- ⑧ 問題なく点灯したら、再びACプラグをコンセントから外して、ディフューザーをセットしてネジで固定します。ドライバーでネジを回す時は、あまり強く回さないように気をつけてください。

■ ランプ使用時間カウンターのリセット方法

蛍光管を交換したら、使用時間カウンターもリセットします。使用時間はいつでも確認できますので、「TUBE CHANGE」の表示が出ていなくても、蛍光管交換後はリセットしましょう。

- ① ダウンボタンを押しながら、ON/OFFボタンを押すと、使用時間がメインディスプレイに表示されます。目安として覚えておきましょう。
- ② 操作パネルの右側にあるカウンター・リセット用の小さな穴に、細いピン等を差込み押します。これでカウンターはリセットされます。
- ③ もう一度ダウンボタンとON/OFFボタンで使用時間を確認します。「00 00」表示でなければ、もう一度リセットしてください。(アップボタンとON/OFFボタンを押すと本体の使用時間を表示。)

■ 専用蛍光管の入手について

ブライトアップ・クロックII専用の蛍光管は、お買い上げになった販売店または、ソーラートーンへお申し付けください。
ソーラートーン: (03) 6809-0310 / info@solartone.com

※ 蛍光管の廃棄は、地区の分別・廃棄処理方法に従って下さい。弊社で廃棄をご希望の方は運賃元払いで弊社までお送り下さい。

ブライトアップ・コンセプト

この度は当社のブライトアップ・クロックIIをお買い上げ頂き真にありがとうございます。正しくご利用頂くために、この取扱説明書を良く読み理解してからご使用ください。

■ ブライトアップ・コンセプト

ブライトアップ・クロックIIは明るい光による目覚めを目的とした高照度目覚まし時計です。人の生体リズムは古代から太陽光に調整されてきました。朝日が昇ることにより目覚め、陽が沈むことにより眠りへと導かれる様に、太陽のリズムそのものが自然な人の生体リズムとなっています。現代は人工の光により自然のリズムに関係のない生活をすることが多く生体リズムを乱す原因となっています。生体リズムの乱れは、不眠症のみならず、疲労感、集中力の低下、体調不良、ストレス、うつ病など様々な悪影響を心身に及ぼす事が知られています。ブライトアップ・クロックIIは明るい光の刺激により、より自然に近い形で目覚めを導くようにデザインされました。ランプは朝日の光に近い特殊蛍光管を使用しています。インバータ方式でチラツキを抑えていますので、通常の照明としても使用できます。

■ ブライトアップ使用上のアドバイス

快適な目覚めのために、また、快適な睡眠のために下記のポイントを参考にしてください。

- ① ブライトアップの置き場所は、就寝時の状態で目に入りにくい場所に、顔の横や、少し高め場所、また、壁への反射等を考えて決めてください。
- ② 目覚めた時に急にライトを直視すると頭痛・めまい等を感じる可能性がありますので注意してください。
- ③ 覚醒に必要な光は目から入り視床下部を刺激します。ライトを直視・凝視する必要はありませんが、目に入りにくい場所にしましょう。
- ④ 起床した後も脳は完全に覚醒していません、しばらくブライトアップを点灯したままにしておきましょう。また、外光がある場合は、なるべく外光も取り入れましょう。
- ⑤ ブライトアップは目覚めの用途だけでなく、冬など陽光が少ない時の補助としても使用できます。但し、午後遅くからは使用しないでください、睡眠を妨げます。
- ⑥ シフトワークなどで、早朝や暗い時間帯に仕事をする必要がある場合は、仕事の直前にも充分明るい光を吸収すると良いでしょう。
- ⑦ 生体リズムは、光だけでなく下図のように様々な要因が影響を与えています。就寝前には部屋を明るくせず、明らかに昼・夜のメリハリを付けるようにしましょう。

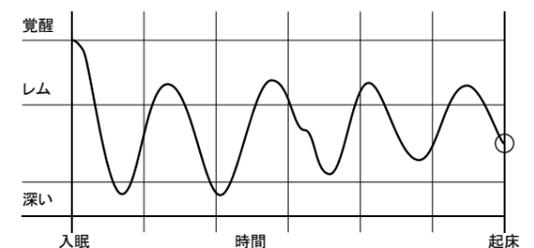
● 生体リズムの仕組み



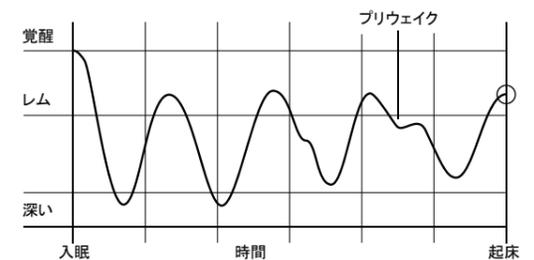
■ プリウエイク機能(設定法はページ8を参照)

プリウエイクとはブライトアップ・クロックIIの特殊機能の一つで、睡眠リズムを瞬間的な光の刺激で調整して目覚めを容易にすることを目的としています。一般的に睡眠はレム睡眠(浅い眠り)とノンレム睡眠(深い眠り)を約90分毎に繰り返す、眠りの浅いレム睡眠状態の間に目覚めると寝起きが良く、すっきりと起きられると言われています。プリウエイク機能は、設定した目覚し時間の90分前にライトを短時間点灯することによりレム睡眠を前もって誘発、実際の目覚めの時間にレム睡眠状態から起きられる様に補助するシステムです。プリウエイク点灯時間は1秒から60秒まで設定可能ですが、最初は1~2秒程から試してください。長く設定し過ぎると、覚醒してしまう可能性がありますので注意してください。注意: レム・ノンレム睡眠の周期は90分が一般的ですが、環境や人によって異なります。タイミングが合わない場合は、プリウエイクは、使用しないでください。

● 睡眠の深さと時間例



● 睡眠の深さと時間例+プリウエイクのイメージ



レム睡眠

レム睡眠=REM(Rapid Eye Movement)の名前は身体の随意筋が弛緩状態でも脳が覚醒に近い状態を示し、目がまぶたの下で良く動くことから言われています。入眠してから60~120分位で最初のレム睡眠が現れます。その後レム睡眠とノンレム睡眠を繰り返します。その周期は一般的に90分(90~110分)で、就寝中に3~5回程の周期があります。明らかに眠りの浅いレム睡眠の時の方が、眠りの深いノンレム睡眠時より起床が楽になります。

本体各部名称・機能

モード設定

■ 正面

■ ディフューザーパネル

ブライトアップ・クロックIIの照射面カバー。光を拡散させ均一な面照明を作ります。ランプ交換の際は本体から取外します。

ライト照射面

■ 操作パネル(時間表示等)

時間表示や、タイマー設定等のコントロールをするパネルです。

■ 背面

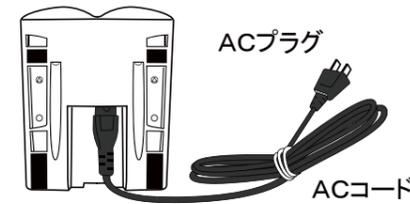
■ ディフューザーネジ

ディフューザーを固定しているネジです。ランプ交換をする時にプラスドライバーで外します。

■ 空気口

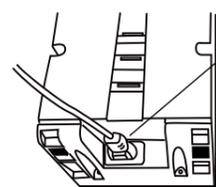
ブライトアップ・クロックII本体を冷すための吸排気口。空気の流れをふさがない様にしてください。

■ 底面



ACプラグ

ACコード



■ モジュラープラグ/ソケット

ACコードの本体側にあるプラグとソケットです。使用を始める前にプラグがしっかりとソケットに固定されているか確認して下さい。

● ベースプレートの取付け(安定性を高めるプレート)

ブライトアップの安定性を高めるために、付属のベースプレートを取付けてください。

- ① ブライトアップを逆さまにして、ベースプレート取付け穴を確認します。
- ② プレート上の突起を本体側に向け、プレートの直線部を本体前面の直線に合わせます。
- ③ 付属の取付けビスをプレートのビス穴に入れ、プラスドライバーで締付けます。

ベースプレート

直線部

取付け用の突起



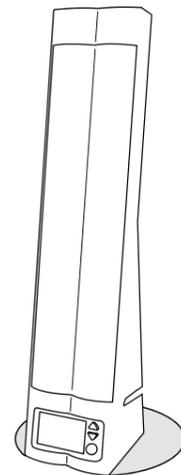
取付けビス

直線部を合わせるライン

ベースプレート取付け穴



取付けビス穴



■ モードの設定

ブライトアップ・クロックIIの基本設定をするための機能です。6種類の設定があり、モード・ボタンを押す度にモード1から順にモードNo.が上がります。モードNo.はメイン・ディスプレイの右上に表示されます。モード内容の変更は、アップ・ダウンボタンで行います。メモ：モード設定は、7秒間どのボタンも押さずにいると、自動的に通常モードに戻ります。

① モード1：アラーム音のON/OFF設定

目覚し時刻にランプ点灯と共に鳴るアラーム音のON/OFFを切り替えます。アラーム音をONにすると、アラームマーク「M」が表示されます。

② モード2：LCDバックライト照度設定

ブライトアップ・クロックIIのランプ消灯時におけるディスプレイのバックライトの明るさを調整します。6段階設定でバックライトを消すこともできます。就寝時などでバックライトの明るさが気になる場合に調整します。

メモ1 ランプ点灯時は、バックライトは最高レベルとなります。メモ2 消灯時にアップ・ダウンボタンを押すと、バックライトは一時的に最高レベルとなり、時間の確認ができます。その後、7秒後に設定レベルの明るさに戻ります。

③ モード3：プリウェイク時間設定(ページ1を参照)

プリウェイクの点灯時間(ライトが点灯する時間)を1~60秒でセットできます。このモードではメインディスプレイが2桁表示となり、右側に「sec」(秒)が表示されます。プリウェイクを「00」以外にセットすると、「O」プリウェイクマークが、サブディスプレイ右側に表示されます。

メモ1 設定時にはONタイマー時間表示に、プリウェイクのスタート時間(点灯が始まる時間)が表示されます。スタート時間は目覚し(ONタイマー)時間の1.5時間(90分)前です。

メモ2 プリウェイク機能を使用しない場合は「00」に設定して「O」マークの表示が消えるのを確認してください。注意：プリウェイクはONタイマーをセットしないと動きません。ONタイマーの時間設定を変更しますと、プリウェイクの点灯スタート時間も自動的に変更されます。

④ モード4：現在時刻の「時間」設定

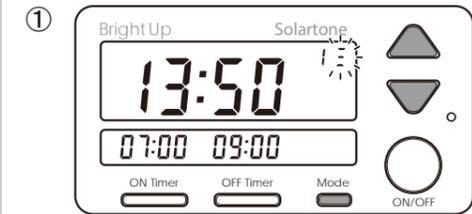
現在時刻の「時間」を設定します。(ページ5を参照)

⑤ モード5：現在時刻の「分」設定

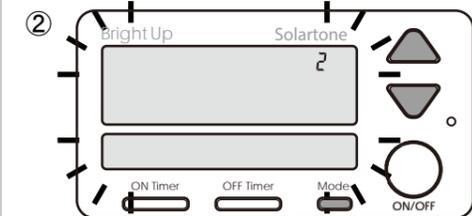
現在時刻の「分」を設定します。(ページ5を参照)

⑥ モード6：現在時刻の表示方式設定

現在時刻の表示は、24時間表示と12時間AM/PM表示が選べます。(ページ5を参照) 注意：ONタイマー・OFFタイマーは24時間表示のみです。



モード1：アラーム音のON/OFF



モード2：バックライト明るさ設定



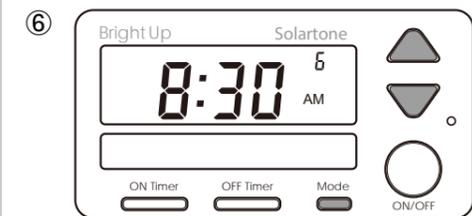
モード3：プリウェイク時間設定



モード4：現在時刻の「時間」設定。



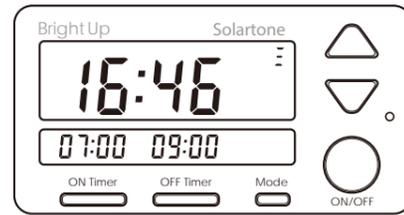
モード5：現在時刻の「分」設定。



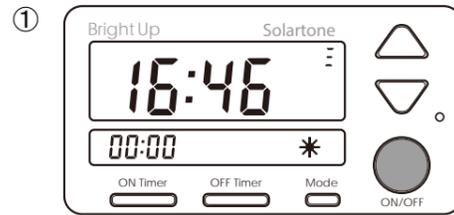
モード6：時刻表示設定(12時間表示)

手動点灯・スリープタイマー

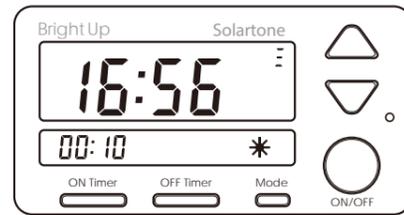
操作パネル名称・機能



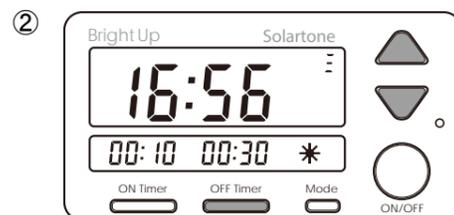
通常モード（消灯時）の表示



ON・OFFボタンで手動点灯



カウントアップタイマーが点灯時間を表示



スリープタイマー作動（設定例は30分）



スリープタイマー「00:00」で消灯

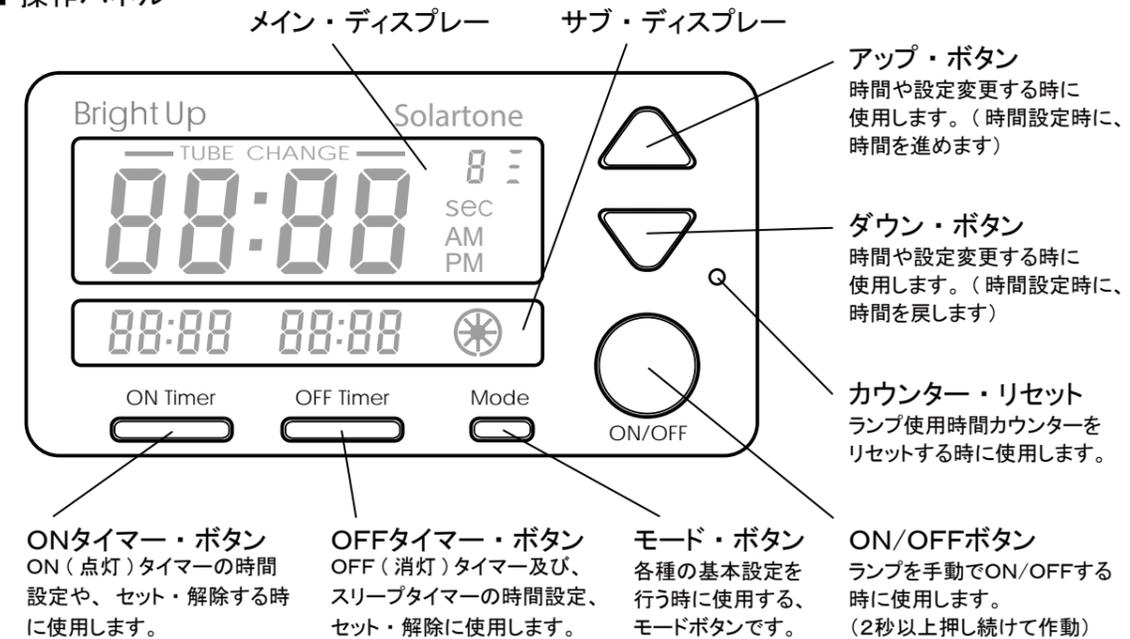
- ① 手動点灯・消灯（マニュアルON/OFF）
 ブライトアップ・クロックIIはいつでも手動で点灯・消灯できます。ON/OFFボタンは誤使用（子供などによる）防止のため、2秒以上押し続けしないと作動しない長押しタイプとなっています。手動点灯による使用に便利な様に、通常のタイマーとは別に、スリープタイマーとカウントアップタイマーが用意されています。
- ON/OFFボタンを2秒以上押し続けます。
 - ピープ音と共にライトが点灯します。サブディスプレイに「*」（ランプマーク）が点滅します。サブディスプレイのONタイマー表示は「00:00」となり、点灯時間に合わせてカウントアップします。OFFタイマー表示は消え、バックライトは最大照度となります。
 - 再度ON/OFFボタンを2秒以上押し続けると、消灯することができます。

● 手動点灯時の注意

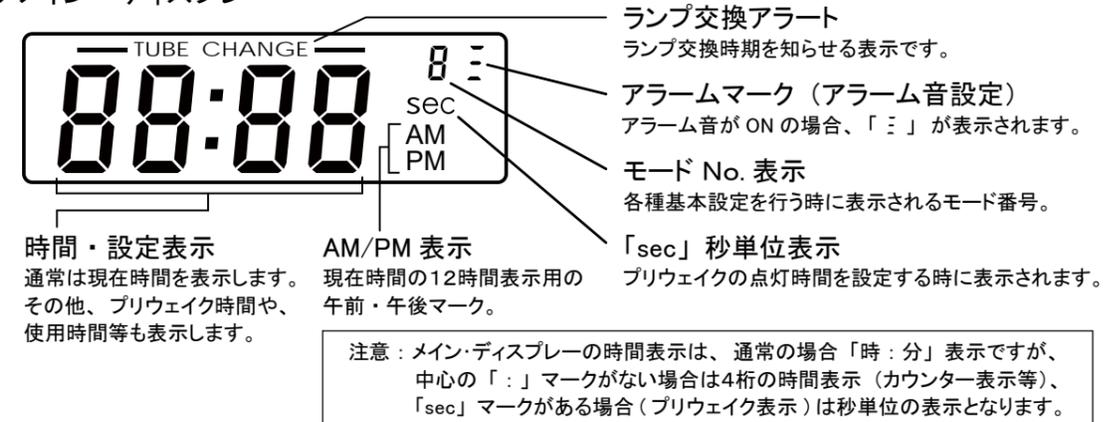
- ▲ ONタイマー・ボタンは作動しません。
- ▲ ONタイマー及び、OFFタイマーはキャンセルされ作動しません。
- ▲ ONタイマーの時間前に手動点灯した場合、OFFタイマーの設定もキャンセルされますので、OFFタイマー時間に消灯しません。（手動点灯時には、スリープタイマーを使用してください。）
- ▲ ONタイマーによる点灯後、一度手動消灯して、再び手動点灯した場合も、OFFタイマーは作動しません。
- ▲ 手動点灯中は、ONタイマー・OFFタイマーの設定はできません。
- ▲ ONタイマー表示はカウントアップの点灯時間を表示します。

- ② スリープタイマー（手動点灯用自動停止）の設定
 ブライトアップ・クロックIIを手動で点灯（マニュアルON）した時自動的に消灯するスリープタイマーを設定することができます。
- 手動点灯時にOFFタイマーボタンを押します。
 - OFFタイマーの時間表示に「00:00」あるいは最後に設定された時間が表示されます。（スリープモード）
 - スリープタイマーは点灯中いつでもアップ・ダウンボタンで変更ができます。
 メモ：アップ・ダウンボタンを押すと最初分表示が増減しますが、そのまま押し続けると、時間表示が増減します。
 - スリープタイマーはカウントダウンしていき、「00:00」になると、ライトを消灯します。
 - OFFタイマーボタンを押して、表示を消すとスリープタイマーを止めることができます。この場合、連続点灯となります。
 - 点灯中に再びOFFタイマーボタンを押すと、最後に表示された時間に戻り、スリープタイマーがその時間からスタートします。
 注意：スリープタイマーの時間を「00:00」に設定した場合は、タイマーをキャンセルした場合と同じで、連続点灯となり自動消灯しません。
 消灯後、再び手動点灯してOFFタイマーボタンを押すと、前回アップ・ダウンボタンで設定した時間が表示されます。

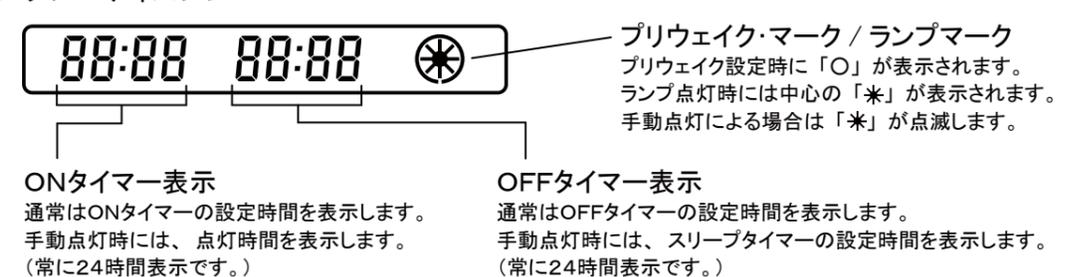
■ 操作パネル



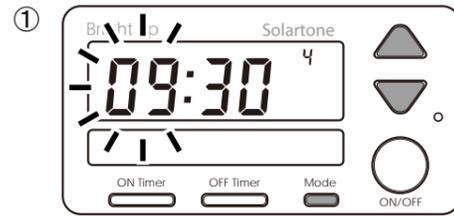
● メイン・ディスプレイ



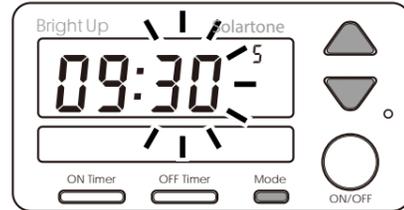
● サブ・ディスプレイ



現在時刻・目覚し時刻の設定



モード4：現在時刻の「時間」設定。



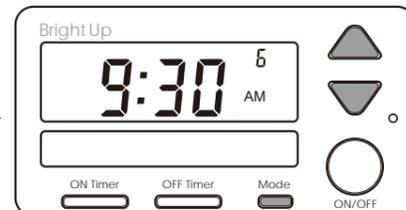
モード5：現在時刻の「分」設定。



モード6：時刻表示 24 時間の場合

① 現在時刻の設定

1. ブライトアップ・クロックIIの AC プラグをコンセントに差し込みます。メインディスプレイに数字などが表示され増す。
2. モード・ボタンを4回押して、時刻設定モード（モード No.4）にします。「時間」の数字が点滅しますので、アップ・ダウンボタンで現在時刻の「時間」を設定します。
3. モード・ボタンをもう一度押します（モード No.5）。「分」の数字が点滅しますので、アップ・ダウンボタンで現在時刻の「分」を設定します。
4. モード・ボタンを更にもう一度押します。（モード No.6）。現在時刻は24時間表示と12時間 AM/PM 表示が選べます。時間表示と中心のコロンが交互に点滅します。アップ・ダウンボタンを押す度に24時間と12時間表示が入れ替わりますので、希望の表示方式にセットします。
注意：ON タイマー、OFF タイマーは常に 24 時間表示です。



モード6：時刻表示 12 時間 AM/PM の場合



ONタイマー設定：「時間」の設定



ONタイマー設定：「分」の設定



ONタイマー設定：タイマーのON/OFF

② 目覚し時間 (ONタイマー) の設定

1. ONタイマーボタンを2秒以上押し続けます。
2. ONタイマー表示の「時間」部分が点滅します。（設定モード）
3. アップ・ダウンボタンで時間（24 時間表示）を設定します。（アップボタンを押すと時間が進み、ダウンボタンは戻ります。）
4. 時間を設定したら、もう一度ONタイマーボタンを押します。
5. ONタイマー表示の「分」部分が点滅します。
6. アップ・ダウンボタンで分を設定します。
7. ONタイマーボタンをもう一度押すと時間が設定されます。
メモ：ブライアップ・クロックIIは、ランプの光がなるべく自分に当たる様に設置してください。
注意：タイマー設定は、ランプが消灯している時のみ可能です。また、ボタンを押さずに7秒経過するとモード設定から自動的に通常表示に戻ります。
ON タイマーは 24 時間表示のみで変更できません。

③ ONタイマーのセット・解除

1. ONタイマーボタンを押すと、押す度にONタイマー時間表示が、表示と非表示を繰り返します。
2. ONタイマー時間が表示されている状態でタイマーは作動します。表示が消えた状態では、タイマーは作動しません。

④ 自動消灯時間 (OFFタイマー) の設定

1. OFFタイマーボタンを2秒以上押し続けます。
2. OFFタイマー表示の「時間」部分が点滅します。（設定モード）
3. アップ・ダウンボタンで時間（24 時間表示）を設定します。（アップボタンを押すと時間が進み、ダウンボタンは戻ります。）
4. 時間を設定したら、もう一度OFF タイマーボタンを押します。
5. OFFタイマー表示の「分」部分が点滅します。
6. アップ・ダウンボタンで分を設定します。
7. OFFタイマーボタンをもう一度押すと時間が設定されます。
注意：タイマー設定は、ランプが消灯している時のみ可能です。また、ボタンを押さずに7秒経過するとモード設定から自動的に通常表示に戻ります。
OFF タイマーは24時間表示のみで変更できません。

⑤ OFFタイマーのセット・解除

1. OFFタイマーボタンを押すと、押す度にONタイマー時間表示が、表示と非表示を繰り返します。
2. OFFタイマー時間が表示されている状態でタイマーは作動します。表示が消えた状態では、タイマーは作動しません。
注意：ONタイマーをセットしない場合は、OFFタイマーをセットしても何も起きません。

⑥ アラーム音の ON/OFF 設定

- ブライアップ・クロックIIには音による目覚し機能（アラーム音）も装備されており、自由に ON/OFF できます。
1. モード・ボタンを1度押してアラーム音設定モード（モード No.1）にします。
 2. アップ・ダウンボタンでアラーム音の ON/OFF を設定します。アラーム音が ON の時アラームマーク「☀」が表示されます。
メモ：アラーム音は目覚し時間に点灯と同時に鳴り出します。
注意：目覚し時間 (ON タイマー) が設定・表示されていない場合は、アラーム音も鳴りません。

⑦ アラーム音のスヌーズ（一時停止）機能

- 目覚し時間にアラーム音が鳴り始めるとアラームマーク「☀」が点滅します。アラームマークはアラームが停止すると消えます。アラーム時に、アップ・ダウンボタンを押すと、スヌーズ機能が働きます。スヌーズ機能は、アラーム音を一旦停止しますが、5分後に再びアラーム音を鳴らします。スヌーズ機能は 12 回迄働きます。また、停止せずに放置しても 15 分後に停止します。
注意：OFF タイマーの時間を経過した場合は、アラーム機能は自動停止し、スヌーズ中でもアラーム音は鳴りません。

⑧ アラーム音の停止

- 目覚しアラーム音を完全に停止する時は、ストップボタンを押します。アラームを停止するとアラームマーク「☀」が消えます。アラーム音の設定は保持されますので、次の日の同じ時間に再び作動します。
注意：アラーム音の停止のためにストップボタンを押す場合は、長く押さないようにしてください。2秒以上押し続けると、ランプも消えてしまいます。

自動消灯・アラーム音の設定



OFFタイマー設定：「時間」の設定



OFFタイマー設定：「分」の設定



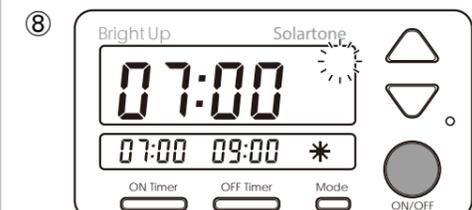
OFFタイマー設定：タイマーの ON/OFF



モード1：アラーム音の ON/OFF



アラーム音：スヌーズ用ボタン



アラーム音：停止用ボタン